

【科目名】総合演習Ⅱ		【担当教員】言語聴覚学専攻教員（窓口：高橋圭三）							
【授業区分】 専門分野（特論）	【授業コード】 5-33-1285-0-1	(メールアドレス) takahashik@nur05.onmicrosoft.com							
【開講時期】4年次・通年	【選択必修】必修	(オフィスアワー)木曜以外 4～5 限							
【単位数】2 単位	【コマ数】30 コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 国家試験対策として、講義と模擬試験を行う。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 毎回、出欠及び遅刻・早退を確認します。									
【講義概要】 (目的) 1, 2, 3, 4 年で学習した内容について総合的にその理解や、知識を確認し、不十分な点について学生自ら自覚し、弱点を補強してゆく。また、国家試験合格を見込める十分な力をつける。 (方法) 講義と模擬試験を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・ 言語聴覚士国家試験に必要な知識を再学習する。									
【行動目標(SBO)】 ・ 国家試験形式の問題になれる。 ・ 苦手科目、得意科目をみつけ、科目ごとの取得点数を設定する。									
【教科書・リザーブドブック】 廣瀬肇監修, 岩田誠ら編集『言語聴覚士テキスト第 2 版』医歯薬出版株式会社, 2012 年.¥4,000+税 科目ごとの教科書 医学辞書（種類は問わない）									
【参考書】 医療研修推進財団監修『言語聴覚士 国家試験出題基準平成 25 年 4 月版』医歯薬出版株式会社, 2013 年. ¥2,200+税									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 模擬試験成績により評定する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		90	10						100 点
評価指標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

平成 26～28 年度入学者用

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時 間 (分)
1	国試セミナー(1)			
2	模擬試験 1 午前 1 限			
3	模擬試験 1 午前 2 限			
4	模擬試験 2 午前 1 限			
5	模擬試験 2 午前 2 限			
6	模擬試験 3 午前 1 限			
7	模擬試験 3 午前 2 限			
8	模擬試験 4 午前 1 限			
9	模擬試験 4 午前 2 限			
10	模擬試験 5 午前 1 限			
11	模擬試験 5 午前 2 限			
12	国試セミナー(1)			
13	国試セミナー(2)			
14	国試セミナー(3)			
15	国試セミナー(4)			
16	国試セミナー(5)			
17	国試セミナー(6)			
18	国試セミナー(7)			

平成 26～28 年度入学者用

19	模擬試験 6 午前 1 限			
20	模擬試験 6 午前 2 限			
21	模擬試験 7 午前 1 限			
22	模擬試験 7 午前 2 限			
23	模擬試験 8 午前 1 限			
24	模擬試験 8 午前 2 限			
25	模擬試験 9 午前 1 限			
26	模擬試験 9 午前 2 限			
27	模擬試験 10 午前 1 限			
28	模擬試験 10 午前 2 限			
29	模擬試験 11 午前 1 限			
30	模擬試験 11 午前 2 限			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。